

ともに暮らすを考える集い

3/20 (月)

10:00 ~ 12:00

会場：東金市ふれあいセンター

語り手

大友 愛美 さん
(おおとも よしみ)

ノーマライゼーションサポートセンターころりんく東川 副理事長

北海道根室市生まれ。
1987年北星学園大学社会福祉学科卒業。母校の社会福祉実習室勤務を経て、旭川市近郊の知的障害者入所施設に勤務。入所相談と退所者の地域生活支援を担当するかたわら、地域と施設をつなぐまちづくりにも参加。1997年旭川市内に地域で暮らす障害のある人とその家族を支援する「サポートセンターぴっころ」を立ち上げる。現在は、共生社会の実現を目指すNPO法人を拠点に、発達障害など地域で生きにくい状況を抱えた人たちの相談・支援、また相談支援従事者、行動援護従事者、介護福祉士など福祉の担い手を育てる仕事をしている。

プログラム

10:00 ~ 10:05 開会
10:05 ~ 11:15 基調講演
11:15 ~ 11:55 質疑・ディスカッション
11:55 ~ 12:00 閉会

- 対象者 東金・山武郡内の障がい児・者とそのご家族
- 定員 30人
- 申込方法 参加をご希望の方は、以下まで電話又は、FAXにてお申込みください（様式はありません）。
Tel:0475(53)3630 / Fax: 0475(53)3631

参加費
無料

【主催】 街かど福祉相談室ると（NPO法人ちば地域生活支援舎）

障害者福祉制度は、平成15年4月の「支援費制度」導入により大きく転換しました。その後「障害者自立支援法」ができ、さらに「障害者総合福祉法」へと改正され、障がい児者に対する支援が拡充されました。
多様なサービスや支援の仕組みにより、本人・家族の暮らしの幅が広がり、将来の可能性も広がりました。一方で、過剰なサービスが、本人や家族の本来の力を奪ってしまうのではないかと危惧しています。そこで、今回は、サービスを使っていくとはどういうことか？どうなれば、本人も家族も自分の力を発揮して、自分らしく幸せに暮らしていけるのか！皆で考えてみたいと思います。